

# 🇩🇰 デンマーク研修報告 🇩🇰



2006年4月30日～5月6日  
当院スタッフと外部医療施設スタッ  
フ3名が  
デンマークへ研修に行きました。

👑 [研修報告](#) 👑

👑 [写真集](#) 👑

+++++

## 研修参加職員

医師 : 三澤和史 (萬田記念病院)  
看護師 : 中川亜子・棚木原智美 (萬田記  
念病院)  
加藤智子 (国立病院機構西札幌  
病院)  
北山智美 (滝川市立病院)  
佐藤容子 (北海道大学病院)

# デンマーク研修報告

## 研修報告

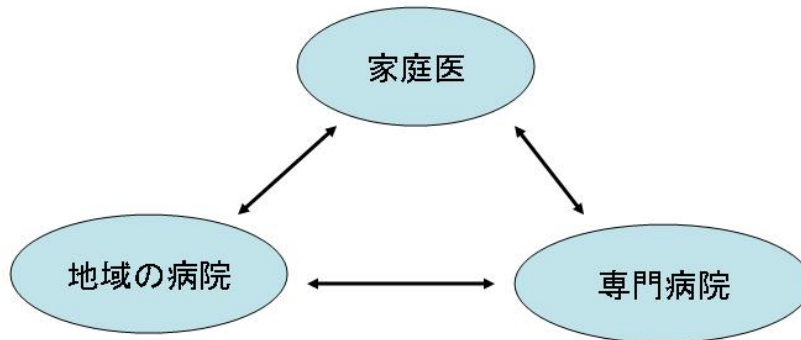
### 研修の行程

日時	行程	目的
4月30日 11:15 (日本時間) 16:15 (現地時間)	成田発 コペンハーゲン着	デンマーク入国
5月1日 11:00	ノボノルディスク本社着	「デンマーク医療の現状」 聴講
5月2日 9:00 12:45	ノボノルディスク社工場着 Glostrup大学病院小児科	見学 「デンマークにおける1型糖尿病の現状」を聴講
5月3日 8:30	Dumus Hagedorn 着	ステノ研修コースの受講
5月4日 9:30 15:00	Gentofte大学病院足病クリニック着 ステノ糖尿病センター着	2名の患者紹介とケース・スタディ 見学と妊娠の聴講
5月5日 17:45	コペンハーゲン発	デンマーク出国
5月6日 11:35 (日本時間)	成田着	



デンマークの医療・福祉は社会保険ではなく、高い税金を財源とする社会保障制度の下で展開され、医療は県の仕事で、福祉は市町村の仕事です。家庭医による診察や入院治療は無料ですが、薬代は自己負担となります。デンマークの人口は541万人で、1型糖尿病は約2万人おり、糖尿病専門医が管理しています。2型糖尿病は約11万人で、主に家庭医が管理しています。デンマークの平均余命は女性77.5歳、男性72.5歳と日本とひらきがあります。人種の違いや魚の消費量が少ないのが原因と思われます。生活習慣病の増加は全世界的傾向ですが、入院待ち期間の長いことは日本にはない問題です。2007年から医療を含めデンマークの構造改革が始まるとのこと。

## デンマークの医療制度



ステノ糖尿病センター

- ・診察無料
- ・必要に応じて紹介
- ・薬代は支払う



Glostrup大学病院小児科Birthe S. Olsenさんによる「デンマークにおける1型糖尿病の現状」を聴講しました。インスリンポンプの小児1型糖尿病は1日6～8回のSMBGとインスリンを希釈することで良いコントロールが得られているとのこと。頻回注射群はデタミアを1日2回で使用シラントス1回より良いと言っていました。1型糖尿病でグルテンに対する自己免疫性下痢が10%に出てくるとのことです。

## ステノ糖尿病センター



5500人/年(新患600-700人)  
外来患者の相談は約25000件/年(医師、ナース、栄養士など)

2) サービス内容

臨床検査部門

病棟(14ベット):5日間の入院施設

Outpatient clinic

Type2 diabetes clinic

Adolescence clinic

Pregnancy clinic

24h telephone service

Home visit service

Eye clinic

Foot clinic

Social adviser

3) 臨床スタッフ

専門医(8)、研修医(8)、ナース(25)、栄養士(4)、臨床検査技師(20)、秘書(10)、足病治療士(2)

社会福祉士(1)、パートの眼科医、婦人科医師、整形外科医、血管外科医

2 基礎的・臨床的糖尿病研究で世界的にも有名な施設

1型糖尿病の病因、2型糖尿病の病因、糖尿病腎症や心血管合併症について

3 国際的な糖尿病教育センター(ステノ教育センター)

実地臨床的糖尿病学(6/年):デンマーク、インドなど、ステノ・シンポジウム(1/年)、

Update course in China(4/年)、Research course in India(2/年)

## ステノ研修センターでの光景



Ebbe先生による講義遠景



19時でも明るいDinner



春の陽光の下、Peter Rossing先生と昼食



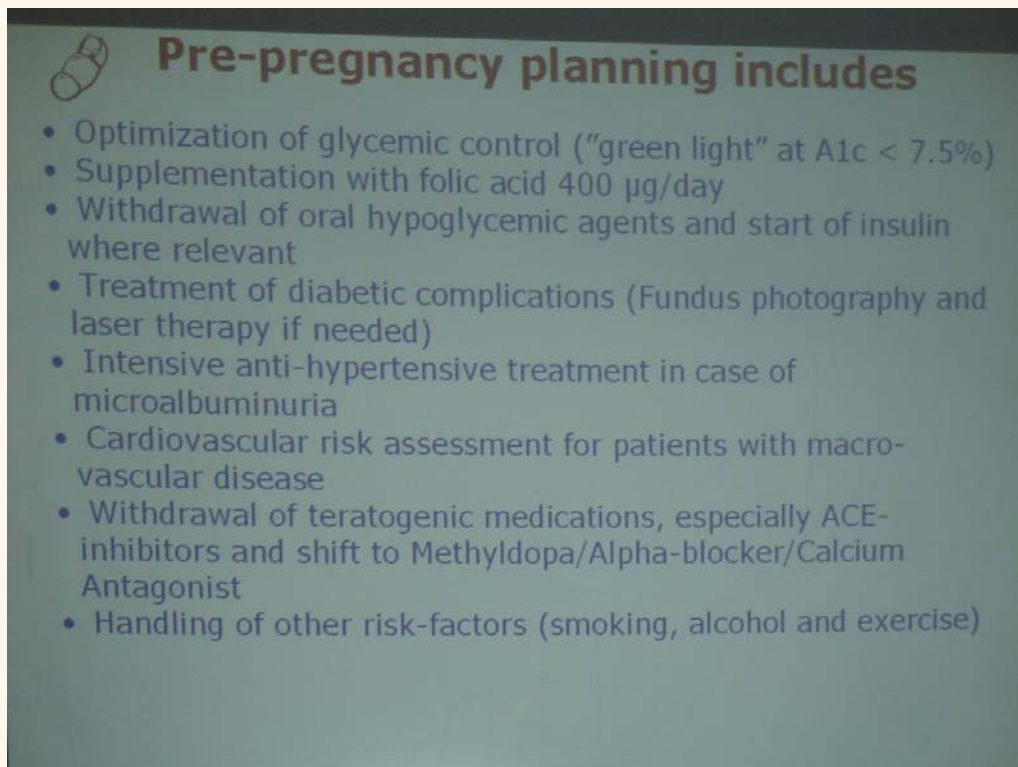
Ebbe先生へ前掛けを贈呈

## 今回のステノ研修センターコースのプログラム

- 9:00 はじめの挨拶(Ebbeさん)の後、糖尿病診療に関する各参加者の発表6つ

- 10:30 糖尿病チーム診療について(Metteさん、Ebbeさん)
- 13:15 Targeting hyperglycemia in type1 and type2 Diabetes (Ebbeさん)、  
Targeting microvascular complications (Peterさん)
- 15:20 Targeting macrovascular complications (Peterさん)
- 16:10 診療の質の確保についてのグループワーク(各参加者)  
「あるクリニックに通院する4,000人の患者の30%がHbA1c9%以上なので  
改善する必要がある」という設定でよく話し合ってIndicator, Outcome  
(level of indicator)、Process(which actions to perform and how often)、  
DeadlineならびにBarriersを60分間で記せという課題であった。  
今後の我が国の糖尿病クリニックにとって多いに参考になる宿題となった。

## ステノ研修センターコース (2日目)

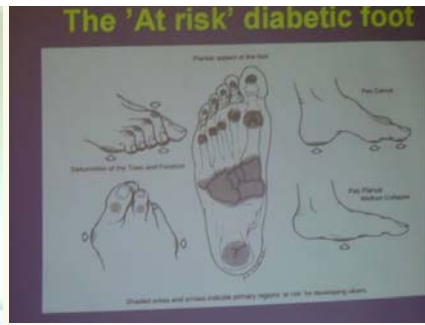


**Pre-pregnancy planning includes**

- Optimization of glycemic control ("green light" at A1c < 7.5%)
- Supplementation with folic acid 400 µg/day
- Withdrawal of oral hypoglycemic agents and start of insulin where relevant
- Treatment of diabetic complications (Fundus photography and laser therapy if needed)
- Intensive anti-hypertensive treatment in case of microalbuminuria
- Cardiovascular risk assessment for patients with macrovascular disease
- Withdrawal of teratogenic medications, especially ACE-inhibitors and shift to Methyldopa/Alpha-blocker/Calcium Antagonist
- Handling of other risk-factors (smoking, alcohol and exercise)

## Gentofte大学病院足病クリニック





**NEXT**



# 🇩🇰 デンマーク研修報告 🇩🇰

## 🏰 写真集 🏰

ホテルから見たチボリ公園



HvidØre



地下にワインセラーのある元病院、HvidØre遠景。  
萬田院長推薦の5月2日のDinner会場です。  
メイン料理はキジでした。



聖ゲアトルド・クロスターで最後の晩餐。14～16世紀は修道院であったこの地下室は中世の雰囲気がたどよう蝋燭照明だけのレストランです。



無事帰国。

 HOME